

応募

募集

要

項

一．内容

赤彦童謡のように、身近な作品に取材した作品・諏訪の風土に合った作品（赤彦の時代を懐かしむような作品ではなく、現代の生活や風景などを題材にする。）島木赤彦全集・岩波書店に第六巻掲載の童謡作品をご参考に）

二．形式

四百字詰原稿用紙二枚以内（何連でもよい）※小中学生は教室に掲示した作品の一人一編

最初の行に題名
①児童・生徒は学校名・学年
②一般・組・氏名（ふりがな）
③末尾に住所・電話番号

他は自由（パソコン・ワープロも可）

三．締め切り

十月八日（水） 当日消印有効

四．応募方法

児童・生徒は学校でまとめ、学年または学級別に一覧表（入賞者の賞状作成のため）を添付して、児童も氏名は漢字、ゴム印可）を添付して、①③のいずれかへお送りください。②の構成もせん。④の題名は、個々に、記載された学級名簿に題名を書き込ん

② 下諏訪町立赤彦記念館

〒三九三〇〇三三 長野県諏訪郡下諏訪町

③ 諏訪教育会事務局 一〇六一六一

〒三九三〇〇三三 長野県諏訪市諏訪一丁目二三一〇

※ 「童謡コンクール係」宛でお願いします。

五．賞 小学校低・高学年、中学校、一般の部

・最優秀賞 以下の一・二・三・四・五・六・七・八・九・十・十一・十二・十三・十四・十五・十六・十七・十八・十九・二十・二十一・二十二・二十三・二十四・二十五・二十六・二十七・二十八・二十九・三十・三十一・三十二・三十三・三十四・三十五・三十六・三十七・三十八・三十九・四十・四十一・四十二・四十三・四十四・四十五・四十六・四十七・四十八・四十九・五十・五十一・五十二・五十三・五十四・五十五・五十六・五十七・五十八・五十九・六十・六十一・六十二・六十三・六十四・六十五・六十六・六十七・六十八・六十九・七十・七十一・七十二・七十三・七十四・七十五・七十六・七十七・七十八・七十九・八十・八十一・八十二・八十三・八十四・八十五・八十六・八十七・八十八・八十九・九十・九十一・九十二・九十三・九十四・九十五・九十六・九十七・九十八・九十九・百

六．審査員 左の団体より選出し行う。

・島木赤彦研究会（本会・長野県支部）

・諏訪国語教育学会

七．発表 十二月中旬 後援する新聞紙上に掲載。

八．その他 応募作品は、返却しない。

・校内作品の著作権は当研究会に帰属する。

・校外作品の応募も認める。（ただし、他のコンクールに応募していない作品に限る）

※ 第二十一回から第二十五回までの作品と第二十

から第二十四回までの楽譜の合冊集（第四集）を

作成しました。第一集、第三集も残部があります。

ご希望の方は、どの作品集を購入するか明記して

一冊につき郵便小為替八百円分（送料込）を添

えて、①へお送りください。

第二十五回

島木赤彦

童謡コンクール

入賞作品より

【小学校低学年】

はじめての手術

手術いやだなあ とってもこわいなあ

ぜったいしないちゃうなあ

でもがんばったら

ねつもでなくなるし

みみもきこえるようになるし

こわいけどがんばる

ママもパパもににもねえねも

おうえんしてるからがんばる

いっぱいいたけどがんばる

あれ？

手術ねているあいだにおわった

うれしいなあ びょういんのおへやで

ママとずっといっしょ

ママをひとりじめ うれしいなあ

トランプやって おりがみやって

お絵かきやって テレビみて

アイスたべて ごほうびがいっぱい

手術がんばってよかったな

もうやりたくないけどね

【中学生】

雨空

京都からの新幹線

ドキドキしながら駅を出た

雨粒がしずかに制服をぬらした

傘をさして歩く道

ひんやりとして静かだった

傘に落ちる雨の音だけが聞こえた

水たまりに映る原爆ドーム

戦争を語る大きな焼け跡がみえた

重たい時間そのもののようだ

教科書とはちがう

実物を見ると言葉が出なくなる

傘をさし見上げる雨空

過去と今がつながっている気がした

このことはずっと心にのこるのだろう



【一般】

すずめの ぎょうざい

たかーい 高い屋根の上

すずめがピーツイおしゃべりしてる

ばーばのお庭の水たまり

みんなदैいってパシャパシャあそぼ

羽を広げてスーと ちゃくち

お水がぬるくて いい気持

口ばし立てて ピーチュン歌う

羽を広げて ちょんちょん踊る

そっと見ていた おばあちゃん

すごいとパチパチ拍子したら

すずめびっくり飛び立った

おどろき もものき すずめの子

《参考作品》

どんぐり

どんぐりやまの
団栗山の

どんぐりは

落ちて落ちて

草のなか

どんぐりやまの

枯草は

分けても分けても

分けきれぬ

草を分ければ

手が冷える

どんぐり拾えば

日が沈む



蜻蛉とんぼ

お庭が寒く

なったのか

蜻蛉がそろって

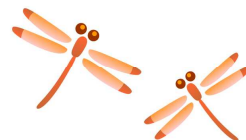
空をとぶ

夕日が空に

のこるのか

光るは蜻蛉の

羽ばかり



庭風呂

風呂に居ります

母さんと二人

風呂は庭風呂

夜風が寒い

星が落ちます

向こうの空に

霜が降ります

この村へ



第二十六回（二〇二六年）

島木赤彦

「童謡」コンクール

作品募集のご案内

主催

島木赤彦研究会

後援

下諏訪町教育委員会
諏訪毎日新聞社
長野日報社
長野新聞グループ
エルシーブイ株式会社